

～市民みんなで安心していきいきと暮らしているまちの実現に向けて～



その思いが 未来を守る



【関連記事】

協力型ナイトエスケープゲーム
夜間避難訓練プログラム
2ページへ

協力型ナイトエスケープゲーム

夜間避難訓練プログラム ～冷水で“いざ”に備える～

8 月 22 日、冷水地区で夜間の避難訓練が行われ、住民や高校生など約 25 人が参加しました。

この訓練は、冷水地区住民の「夜に避難訓練をしてみたい」という声をきっかけに近畿大学生物理工学部 4 年の北原剛志さんが考案した「協力型ナイトエスケープゲーム」と名付けられた取り組みです。

南海トラフ地震が発生した場合、地区には地震発生から約 48 分で津波が到達し、最大 8 メートルの津波が想定されています。今回はその想定を元に、夜間の避難を体験しました。



内容を説明する
北原さん

参加者は 4～5 人のグループに分かれ、事前に「避難に必要な？」と思う防災グッズを各自で考え準備していた道具を使いながら実際の避難経路を歩きゴールの高台を目指します。



いざ！出発！！

避難の途中には屋根瓦の落下や倒木を想定した障害物が置かれ、参加者は懐中電灯で周囲を照らし合いながら、手袋を使って障害物をどかしたり、声を掛け合ったりして進みました。

また、各グループの 1 人にはサングラスや耳栓をつけてもらい、視覚や聴覚に制限がある方とともに避難する状況を再現しました。

瓦礫を撤去



「協力型ナイトエスケープゲーム」という名前の通り、参加者は時間内に高台にたどり着くだけでなく、危険箇所を見つけて写真に収めたり、ミッションをこなしたりすることで得点を競いました。ゲーム感覚を取り入れることで、普段は難しい夜間の避難体験を楽しく、かつ真剣に学べる内容となりました。

懐中電灯

ミッションパネル



参加者からは「夜道は思っていた以上に暗く、怖さを実感した」「街灯が少ない場所が危険だと気づいた」「防災リュックの中身を確認したら期限切れの物があり、点検の大切さを実感した」といった声が寄せられました。また、避難中には「この道は狭くて危ないのではないか」「あの線路付近は要注意だ」など、地域ならではの具体的な意見も出され、住民同士で課題を共有する貴重な機会となりました。

グループで話し合い



気づきなどを共有



参加者募集

災害ボランティアセンター 設置・運営訓練を実施します！

近年、全国各地で自然災害が多発し、甚大な被害が発生しています。災害時には、被災された方々を支援するために「災害ボランティアセンター」が開設されます。このセンターは、社会福祉協議会だけでなく、地域住民や関係団体が協力して運営する重要な拠点です。

そこで今回、地域の皆さんが主体となってセンターの設置・運営を体験する訓練を行います。
いざという時に備え、災害ボランティアセンターを体験してみませんか？

- 日 時** 令和 7 年 12 月 13 日(土) ※雨天決行
9:00 ~ 12:30
- 場 所** 海南保健福祉センター (海南市日方 1519 番地 10)
- 募 集** 災害ボランティアもしくは運営スタッフ
※詳細は海南市社会福祉協議会のホームページをご覧ください
- 申込期間** 令和 7 年 11 月 4 日(火)8:30 ~ 11 月 28 日(金)17:00
- 申込方法** 右記二次元コードからお申し込みください→

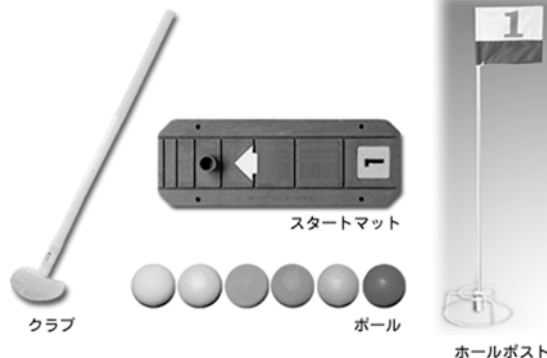


グラウンド・ゴルフで地域交流しませんか？

市民の地域交流や健康増進を図ることを目的に、
グラウンド・ゴルフ用具の貸出をしています。
誰でも気軽に、屋外でできるスポーツです。

貸出
無料

貸出可能数	大人用 14セット 子供用 5セット 1セットで6人分です
貸出期間	2週間以内
貸出対象	海南市にお住まいの方



※数に限りがありますので、ご希望日に貸出できない場合があります。

問い合わせ 海南市社会福祉協議会 ☎073-483-6777

